

## 番号札：ナンバープレートの「数字の秘密（ひみつ）に迫る」

～ 熱くなると「熊本弁」も飛び出すバイ！！（その2）～

よっ！ひさかたぶりですな！あたち（あなた方）は元気にしとらしたかな？  
ワシは熊本博物館の屋外展示場で相変わらず元気にのんびり過ごしますバイ！  
そろそろソメイヨシノの花も咲く頃で気分も良かけん、こん前の「つぶやき」の続きばし  
てみろかね。ワシの顔の「おでこ」のあたりに付いとる「番号札（ナンバープレート）の  
数字のひみつ」ていうか…、おもしろか「決まり」について話してみまっしょかね。



【最近のワシ（元気にのんびり）】



ワシらが「キューロク」とか「クンロク」とかいう愛称で呼ばれとった話ば覚えとらすかな？えっ…？忘れとった…？まあヨカヨカ。そんなら復習じゃ！緑色の番号札ば、よーっと見てハイヨ！左から「6・9・6・6・5」…て数字の並んどるよね。番号の中にある「96」の部分が愛称につながるどころタイ！！ついでにちょっと付け加えるばってん、ワシらの仲間は「96形（キューロクケイ）」てろん、9600形（きゅうせんろっぴやくケイ、キューロクまるまるケイ）てろん、ほかの呼び方もあるとバイ（長かと面倒かね）！同じ「96（キューロク）」の仲間が全部で770台造られとるばってん、ワシはその内の666番目に造られた若造（わかぞう）？の方ですタイ！

実は、番号札には「仲間内で何番目に造られたか」がわかる「ひみつ・決まり」があるんじゃよ。ここからが「つぶやき」の本題じゃ！

ワシら「キューロク」の記念すべき「1番機（1号機）」の番号札は「9600（キューロクれいれい）」で、正に「96形」の始まりにふさわしい番号が付けられたんじゃ。

「2番機」が「9601」、「3番機」が「9602」…、「10番機」が「9609」で、次の「11番機」が「9610」…、となつたんじゃな。ソロソロ…あたちちも番号札の「数字の並び方」に、何か「ひみつの決まり」のあるごたるな～、って気づいたっじゃなかるか？（ウン・ウン、そぎゃんタイ！ワシには心の声の聞こゆるバイ！）

実は、96以外の下2桁（一の位、十の位）の数字に「1」を足した数が「そのキューロク」が造られた順番になるとタイ。そのからもどんどん仲間が増えて「99番機」には「9698」、「100番機」には「9699」の番号札が付いたわけじゃ！つまり、造られた順番から「1」を引いた数字が番号札の中の数字として書かれとるっちゅうこつタイ。さて、ここで頭の体操！あたちちに問題ば出すバイ！「101番機」の番号札にはどぎゃん「数字」の付けられたて思うかな？？当ててみてハイヨ！

「9700?」「96100?」…？なんと、そんな頃には「97形」という「別の型の機関車仲間」が造られとったんじゃ。「9700」は「97形の1番機」に付けた番号と全く同じになるとタイ。また、96形は「キューロクまるまる（れいれい）、きゅうせんろっぴやく」て呼ばれるこつもあるて言うたでしよが。すると、「96100」なら96の位（くらい）が上がって「きゅーまんろくせん」になってしまうとですタイな。

ちっと、もったいぶってしもたな（失礼！）。いよいよ正解ば発表しますバイ！！「101番機」ですけん、「1」を引いた「100」ていう「数字」が書かれとるはず！！正解はですな・・・、96の前（上の位）に「100」の数字の「1」を付け、下2桁の「00」は96の後ろ（下の位）に残して「19600」が番号札になったんじゃよ。こん数字の並びなら、ワシらの仲間を表す「96」の位も数も変えんで済みますな！どぎゃんですか！？当たった人はおらすかな（いらっしやいますか）??

さてさて…、今回の「つぶやき」のシメに、改めてワシの番号札「69665」に戻ってほしいんじゃが…。96の前の「6」は「キューロクの600番台の仲間」のこと、96の後ろの数字「65」には「1」を足して「66番」…、つまり、ワシは「キューロクの666番機（666番目に造られた）」ということ番号札が教えてくれるんじゃ！

今回の「番号札の数字のひみつ」、おわかりいただけましたかな？（ガッオン！ガッテオ？）

**おまけ：「あたちちへの挑戦（チャレンジ！って言うとかな？）問題」**

◎「96形」は全部で770台も造られたんじゃが、最後に造られた「キューロク」の番号札の「数字（数の並び）」は次の内のどれ？

これも当ててハイヨ！

- ① 79670
- ② 79669
- ③ 79671

**【担当者より】** 答えは、熊本博物館ホームページ「展示案内」>「屋外展示」を検索していただくと見つけることができます。ぜひ、ご覧ください。

